

## 9) 研究談話会

### 第91回

開催日時 平成19年8月9日(木) 午後3時半から4時半まで  
演 題 性差医療の今ー国際性差学会(ウィーン)に参加してー  
衛生研究所長 天野 恵子

要 旨: 性差医療とは、男女比が圧倒的にどちらかに傾いている病態、発症率はほぼ同じでも男女間で臨床的に差をみるもの、生理的、生物学的解明が男性または女性で遅れている病態、社会的な男女の地位と健康の関連などに関する研究を進め、その結果を疾病の診断、治療法、予防措置へ反映することを目的とした医療改革である。

### 第92回

開催日時 平成19年12月6日(木) 午後3時から4時半まで  
演 題 1 ポジティブリスト制のもとでの輸入加工食品の残留農薬分析  
食品化学研究室 研究員 眞壁 祐樹

要 旨: 平成15年5月の食品衛生法改正に伴い、農薬等の残留基準にいわゆるポジティブリスト制が導入され、約800種の農薬に基準が設定された。これらの農薬を効率的に分析するための一斉分析法が各衛生研究所や登録検査機関などから報告されており、厚生労働省からも通知で示されている。これらを用いることにより100~300種の農薬を分析することが可能ではあるが、農薬のなかには測定が困難な物質も少なくない。千葉県では食品中の残留農薬検査を衛生研究所神明町庁舎と仁戸名庁舎の2ヶ所で行っており、神明町庁舎では生鮮野菜、輸入野菜などを、仁戸名庁舎ではパスタなどの輸入加工食品を検査している。加工食品は分析を妨害する物質(マトリックス)の除去や、複数の原材料が使用されているなど、分析するにあたっては生鮮食品とは異なる注意点がある。今回はポジティブリスト制の内容と、仁戸名庁舎で行っている残留農薬検査の現状について述べる。

演 題 2 「千葉県民の健康状態」 ~女性の健康疫学調査結果より~  
健康疫学研究室 特別研究員 柳堀 朗子

要 旨: 健康疫学研究室では、女性の健康疫学調査の一環として基本健康診査データ収集システム確立事業、県民健康基礎調査などを実施している。これらの研究成果に基づく県民の健康状態について報告すると共に、平成20年度から開始される特定健診・特定保健指導やメタボリックシンドロームに関する話題を提供する。

### 第93回

開催日時 平成20年3月6日(木) 午後4時から4時45分まで  
演 題 「ワクチンとともに30年」~GMPへの取り組みについて~  
衛生研究所 副技監 川口 清二郎